

顕著な低気圧の発達過程における大気海洋海氷相互作用

2024年1月18～19日

北海道大学低温科学研究所

1月18日14:00～18:00

2F会議室

1. 滝川真央（三重大4年）長期化する日本の夏
2. 大橋勇介（三重大M1）冬季日本海上で急速に発達するポーラーロウと対馬暖流や海面水温前線との相互作用
3. 野村鈴音（京大M1）2重フーリエ級数を用いた順圧モデル
4. 高野響生（北大M2）サハリン島南端における冷水の湧昇メカニズム：海底境界層の効果
5. 本田明治（新潟大）オホーツク海は気候系のクールスポット？
6. 上野洋路（北大）・小田正人・安井桂・土橋稜・三寺史夫 冬季塩分躍層の全球分布と経年変動

総合討論 17:00～18:00

高谷、榎本、上野

1月19日10:00～12:00

3F交流ラウンジ（講堂の手前の部屋）

7. 立花義裕（三重大）「天野レジームシフト」と海流レジームシフトの同期は偶然か、それとも因果か？
8. 榎本剛（京大防災研）2020/2021年越し寒波と極越え気流との関係
9. 三寺史夫 知床をはじめとする北海道オホーツク海沿岸の海水変動予測
10. 高谷康太郎（京産大）TBD